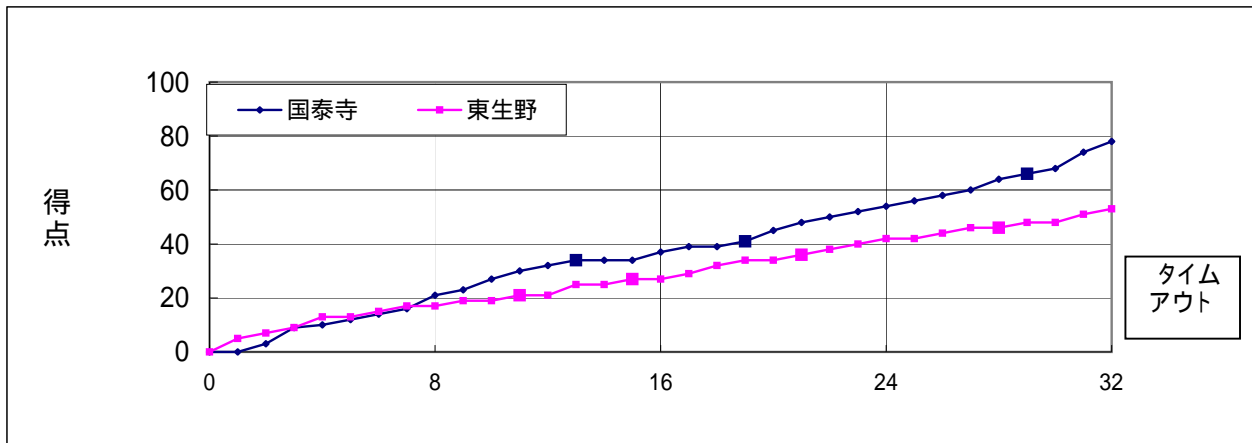


試合区分	1日目	予選リーグ	1GD1															
期日	2010年(平成22年)8月23日(月)		9:30															
会場	広島県立総合体育館																	
結果	国泰寺 78 (広島)	<table border="1"> <tr><td>21</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr><td>16</td><td>-</td><td>10</td></tr> <tr><td>17</td><td>-</td><td>15</td></tr> <tr><td>24</td><td>-</td><td>11</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	21	-	17	16	-	10	17	-	15	24	-	11	-	-	-	53 東生野 (大阪)
21	-	17																
16	-	10																
17	-	15																
24	-	11																
-	-	-																
審判	主審 御手洗 亮	副審 草野 伸明																



国泰寺

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 中田 啓亮 (C)	13	0	6	1	1
5	茅原 耕平	5	1	1	0	0
6	村上 拓也	0	0	0	0	0
7	岡田 凌	0	0	0	0	0
8	槻谷 和紀	2	0	1	0	0
9	笠井 拓見	0	0	0	0	0
10	* 坂東 龍也	15	2	4	1	0
11	* 村井 大陸	29	1	12	2	2
12	小西 裕貴	0	0	0	0	1
13	* 豊田 湧一郎	8	0	4	0	1
14	* 小栗 尚幸	6	0	3	0	3
15	佐々井 雄大	0	0	0	0	0
16	香川 大雅	0	0	0	0	0
17	渡辺 潤	-	-	-	-	-
18	伊森 響一郎	0	0	0	0	0
コーチ	西 明生					
合計		78	4	31	4	8

東生野

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 上谷 勇也 (C)	4	0	2	0	2
5	* 佐藤 健介	0	0	0	0	0
6	* 金田 拓也	25	0	12	1	2
7	* 木村 勇太	9	0	4	1	4
8						
9	亀井 源太	0	0	0	0	0
10	田中 昇平	2	0	1	0	0
11	* 松下 拓磨	10	0	5	0	2
12	矢野 雄基	-	-	-	-	-
13	吉川 宏恭	3	1	0	0	0
14	山下 悠	-	-	-	-	-
15	松本 智嗣	-	-	-	-	-
16	香山 尚基	-	-	-	-	-
17	浦井 匠	-	-	-	-	-
18	林 健汰	-	-	-	-	-
コーチ	山田 基次					
合計		53	1	24	2	10

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

本大会オープニングゲーム。地元広島国泰寺対近畿ブロック代表大阪東生野の一戦。1Q、両チームともマンツーマンDefでスタート。固さのみられる国泰寺に対し#6 #11のポストプレイで東生野がリズムを作る。一方国泰寺は#11の1対1スティールからの速攻で流れを取り戻す。21-11で1Q終了。2Q、開始より国泰寺#11 #14のジャンプシュートで加点、東生野たまたまタイムアウト。Defを3-2ゾーンに変えるも#10の3Pなどで徐々に差が開き始める。しかし、東生野も#6 #11のインサイドで粘りを見せる。その後も国泰寺#5の3P、東生野#11のポストプレイとお互い特徴を生かしたOffで譲らず37-27で前半を終了。

3Q、国泰寺マンツーマンDef、東生野3-2ゾーンDefでスタート。シュートが決まらない国泰寺に対し、リバウンドを支配しはじめた東生野が差を縮め、39-34となったところで国泰寺タイムアウト。国泰寺オールコートマンツーマンDefに変え相手のミス誘い、流れをつかむ。その後も#4の連続シュートが決まり、54-42で終了。4Q、東生野のゾーンに対し、国泰寺は#11の落ち着いたパス回し、ジャンプシュートで得点を重ねる。更に連続速攻が決まり62-46となった所で東生野タイムアウト。しかし、その後も流れは変わらず国泰寺は速攻を次々と決める。地元初戦を豊富な運動量でコートを走り続けた国泰寺が78-53で勝利をおさめた。

記事者 大坂 俊二 (所属) 広島